

安全・適正委員会からのお知らせ No.72

冬場の事故に気を付けましょう!

冬場は寒さで体をうまく動かすことができなかったり、路面の凍結などによる転倒事故が増える季節です。

事故を起こさないことが一番ですが、万が一ケガをしてしまった时候のために緊急連絡カードを携帯したり、健康診断を受けて自身の体調をチェックしましょう。

緊急連絡カードとは

常に携帯し、万が一事故があったとき緊急連絡先となる方への連絡をスムーズにするためのものです。お持ちでない方は支部でも配布しています。この機会にぜひご活用ください。



転倒事故を未然に防ぎましょう



名古屋市シルバー人材センターにおける傷害事故のうち、もっとも割合の高いのが転倒事故です。小さな段差での転倒でも、場合によっては骨折などの大きなケガにつながるため、注意が必要です。

転倒事故 この場所に注意です！！



雨や雪が降ったあとの道路

雨や雪が降った後は道路が滑りやすくなります。特に凍結している路面を歩くのは避けましょう。もしも歩く場合は重心を落として一歩一歩ゆっくりと歩くようにしましょう。



階段や段差

冬場に限った話ではありませんが、階段を踏み外したり、段差でつまづいて転倒する事故が多発しています。これらの事故は大ケガに繋がりがやすいのでより一層の注意が必要です。階段を昇り降りする際は「手すりをしっかり持ってゆっくり」を心がけましょう。また、段差については「自分が思っていた以上に足が上がらず、つまづいてしまった」というケースが非常に多いです。小さな段差でも気を付けるようにしましょう。

裏面に続く

事故から身を守るには



交通ルールや職種別安全就業基準、職群班のルールを守って就業しましょう。

正しい手順で行うことで事故を防ぐことができます。万が一事故があった場合にも、更なるトラブルから自分の身を守ることに繋がります。

多くの事故は不注意により起こっています。危険を予測し回避するには「～だろう」ではなく「～かもしれない」という発想で周囲に注意を払い、万全の体制でお仕事に臨みましょう。

事故対策は事故が起こる前に～ヒヤリ・ハット～



事故の前の段階で、「“運”がよく事故や災害に至らなかった、危なかった」という経験はありませんか？

このようなヒヤッとした、ハットしたことを「ヒヤリ・ハット」と呼びます。病気には早期発見・早期治療が有効なのと同じで、ヒヤリ・ハットの時点で事故対策を講じると、より被害を防ぐ効果があります。

最近ご自身が体験したヒヤリ・ハットで紙面で紹介（匿名）してもよいものがありましたら、下記の様式に記入のうえぜひ事務局までお知らせください。投稿やクイズへの応募に同封して頂いても結構です。

あて先：〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通3-12-1

名古屋市シルバー人材センター『ヒヤリ・ハット事例』係（ヒヤリ・ハット体験事例コピー可）

ヒヤリ・ハット体験事例

いつ	午前	午後	夕方	夜	就業職種			性別	
	就業中		途上		人数	ひとり	複数	年齢	歳
いつ					どこで				
なにが					どうした				

ヒヤリ・ハットした時のあなたの状態は？（該当するものに○をつけてください。複数可）

注意（集中力）が足りなかった		体のバランスが保てなかった	
作業において判断を誤った（迷った）		体の調子が悪かった	
あわてて作業していた		作業方法を間違えて覚えていた	
近いところがよく見えなかった		手順を省略しても大丈夫だと思った	
事前の安全確認を怠った		作業環境（整理整頓）がよくなかった	

上記の事例について、反省・改善・対策等お気づきのことがありましたら記入してください。

名古屋市シルバー人材センター 安全標語

「FAX」「郵送」「支部への持参」いずれも可

自分だけ 起きぬと思うな 事故病気